

NEWS

マグロと鯨

◆大差で否決

「マグロが食べられなくなる？」と心配されていた方もとりあえずは胸をなで下ろしたのではないのでしょうか。絶滅の恐れがある野生動植物の輸出入を規制するワシントン条約の第15回締約国会議の第1委員会は3月18日、モナコが提案した大西洋・地中海産クロマグロ(本マグロ)の国際取引禁止案を、賛成20、反対68、棄権が30の反対多数で否決しました。

当初、禁輸を回避したい日本の劣勢が伝えられていましたが、中東やアフリカの漁業国の支持を得て土壇場で巻き返した形です。委員会ではモナコの提案とは別に、EU議長国のスペインが、禁輸案を支持した上で来年5月まで発効を遅らせる修正案を提出していましたが、これも賛成43、反対72、棄権14で否決されました。24日から開かれる全体会で、再投票が求められる可能性は残りますが、禁輸は回避される方向となりそうです。

◆気になる情緒的反応

これまで大西洋のマグロについて資源管理を行ってきた「大西洋まぐる類保存国際委員会」(ICCAT)などの推計では、太平洋のクロマグロの資源量は横ばいの状態ですが、大西洋の資源量は1970年代の30万トン程度から、近年は10万トン前後で3分の1程度に激減したとされます。資源量が減っていることは確かなようです。

このため、昨年11月のICCAT年次会合では地中海を含む東大西洋産クロマグロの漁獲量を4割も減らすことを決めました。

大西洋産クロマグロについて、日本は漁獲規制を守れば資源を回復できるとし、絶滅の恐れのある野生生物の保護が目的のワシントン

条約で扱うのは筋違いという立場です。一方モナコはワシントン条約の「付属書I」に掲載することを求めました。付属書Iにリストアップされた野生生物は、今すぐにも絶滅する危険性がある生物で、ジュゴンやトラ、シーラカンスなど約900種です。それにしてもクロマグロをいきなり絶滅が危惧されるシーラカンスやトラと同列に扱うことには違和感も感じます。

気になるのは最近、生物保護にまつわる情緒的反応が目につくことです。南極海で調査捕鯨を行っていた日本の捕鯨船団が反捕鯨団体「シーシェパード」から激しい妨害を受けました。シーシェパードの活動船は海にロープを投げ入れてスクリューを壊そうとしたり、有害な薬品を投げつけるなど過激な行動を繰り返し、あげくにレーザ光線まで導入しました。一つ間違えば人命にも関わる事態であり、抗議活動の域を超えています。一方、今年のアカデミー賞では日本沿岸のイルカ漁を動物愛護の観点から告発する映画が、ドキュメンタリ部門のオスカーを獲得しました。シーシェパードの活動と同列に扱うことはできませんが、隠しカメラを使ったり、日本人出演者の一部は、出演依頼時に映画の内容について製作者に嘘をつかれたと述べているとの報道もあります。

3月10日のジャパントイムスは「牛を食べる国もあれば、鯨やイルカを食べる国もある」との外務省職員の話を紹介していますが、背景には食文化の違いもあります。いずれにせよ国際法などの秩序を破る情緒的反応は問題なしとしません。科学的知見に基づいた冷静な資源管理が必要です。(了)



まぶち会のご案内

私は「渴すれど盗泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの年間寄付金(個人献金)によって支えられています。

主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。

まぶちすみお後援会事務所
0742(40)5531

4月10日(土)第116回 シビックミーティング

日時・4月10日(土)午後3時00分～4時15分
 場所・奈良商工会議所5階大会議室
 ・近鉄奈良駅から県庁に向かって徒歩1分
 ・登大路左側のビル
 ・奈良市登大路町36-2
 ・TEL 0742-26-6222



テーマ・「未定」

今回のシビックミーティングはH22年度予算が成立して間もない時期の開催となります。副大臣として初めての通常国会予算審議を経た感想など、率直にお話させていただきます。どうかお気軽にお越し下さい。予約・入場料不要、出入り自由です。

シビックミーティング終了後、隣のビルの地下1階「神なり屋」(TEL27-9565)にて有志による懇親会「天下国家を語る会」を開催します。

なお、こちらは会費2000円(軽食・飲み物)となります。

○お問合せ：まぶちすみお後援会事務所
 Tel 0742 (40) 5531

スタッフ日記

奈良散歩

奈良もだんだんと春の暖かさが感じられる季節となりました。今春、馬淵事務所にお世話になっているインターン生です。皆さん、インターンシップをご存知でしょうか？インターンシップとは一般に、企業などでの就業体験を通じてその機関の業務を知り、経験を積む制度です。もちろん賃金は払われず、それを経験したからといって有利に就職できるわけでもありません。ですが、多くの学生はこの制度を使って自分の関心のある分野へ自主的に参加し、社会との接点を模索しています。

学生には厳しい春の就職戦線ではありますが、世間は龍馬ブームに湧いています。私もそれに便乗し、最近の関心ごとは司馬遼太郎さんの歴史小説を読む事です。奈良もちょうど遷都1300年であり、他県

出身の私にとっては奈良の文化に触れる機会が増えるのでわくわくしています。

インターン活動の中で様々な方々とお話する機会がありました。印象的なのは奥様方からは子供の教育に関するご相談を受けることが多く、年配の方々からは医療に関するご相談を、現役世代の方々からは国政へのご意見、など各世代によって政治への切り口が異なる事です。こういったご意見を聞くたびに政治の難しさと奥深さを痛感しております。

私と奈良との接点がインターン活動と奈良の歴史文化です。私のお会いしたお一人おひとりの思いが、政治を通じて実現できるようにこれからの活動においても出会いを大切に日々精進してまいりたいと思います。(りょうま)

週間活動報告

13 土

京奈和自動車道総理視察事業概況説明、遷都1300年記念祭平城宮跡総理視察同行、奈良県民主党議員と総理との懇談会

14 日

支持者面談、上京

15 月

国土交通省政策会議コアメンバー会議、レク(ダム技術センター・河川局) 定例記者会見、島の振興議員連盟と政務三役との懇談会

16 火

第1回国土交通省政策会議分科会、衆議院国土交通委員会、【答弁】参議院国土交通委員会、【答弁】参議院環境委員会、道路局ヒアリング、レク(道路局2件)、決裁(総合政策局)

17 水

衆議院国土交通委員会、政務三役懇談会、決裁(総合政策局、港湾局海岸・防災課、河川局)、レク(観光庁、総合政策局)、【答弁】参議院予算委員会

18 木

第17回副大臣会議、ロイター通信、決裁(国土計画局)、レク(観光庁、住宅局)、大臣レク、政務二役懇談会

19 金

衆議院国土交通委員会、レク(政策評価官室)、H22年度予算配分案説明、参議院国土交通委員会、【答弁】参議院環境委員会、大臣レク、第52回IT戦略本部、帰奈

衆議院
議員

馬淵澄夫

まぶちへのご意見は、e-mailで：
office@mabuti.net

国会
事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
 衆議院 第1 議員会館 437号室
 TEL 03(3508)7137 FAX 03(3506)3572

奈良
事務所

まぶちすみお後援会(まぶち会)
 〒631-0036 奈良市学園北1-11-10 森田ビル6F
 TEL 0742(40)5531 FAX 0742(40)5532